

胞状奇胎の掻爬回数と続発症頻度に関する調査研究

この度、日本産科婦人科学会専門委員会小委員会（班研究）として「胞状奇胎の掻爬回数と続発症頻度に関する調査研究」を日本産科婦人科学会倫理委員会臨床研究審査小委員会の承認ならび理事長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。またプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない方は、その旨をお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

全国で2014年1月1日から2016年12月31日までの3年間に胞状奇胎除去術を施行された患者さんが対象となり目標症例数は2,000例です。

2 研究実施機関

日本産科婦人科学会「胞状奇胎の掻爬回数と続発症頻度に関する調査小委員会」

福岡大学医学部産婦人科 教授 宮本新吾

九州大学病院産科婦人科 助教 兼城英輔

熊本大学医学部保健学科 教授 田代浩徳

千葉大学大学院医学研究院生殖医学 講師 碓井宏和

名古屋大学大学院医療行政学 講師 山本 英子

日本産科婦人科学会腫瘍登録施設（約400施設）

3 本研究の意義、目的、方法

この研究は胞状奇胎除去術後の再掻爬が必要かを確認することを目的としたものであり、今後の診療にも役立つことができると考えています。この研究を行うことで患者さんに日常診療以外の余分な負担が生じることはありません。

研究の方法は、胞状奇胎除去術を受けた患者さんのカルテより、再掻爬の有無、続発症を中心とした情報を収集します。取得した研究対象者の情報を日本産科産婦人科学会「胞状奇胎の掻爬回数と続発（頻度に関する調査小委員会）」へ送付し、詳しい解析を行って胞状奇胎除去術後の再掻爬の有用性を検討します。

4 取得する情報

- 1) 年齢（初回治療開始時点）
- 2) 妊娠分娩歴
- 3) 初回治療前血中（尿中）hCG値（mIU/ML）
- 4) 初回治療年月（奇胎除去術）
- 5) 初回治療時の妊娠週数
- 6) 初回治療の施設（自施設 or 他施設）
- 7) 初回手術手技（掻爬、吸引、両者併用、その他、不明）
- 8) 病理診断（全奇胎、部分奇胎、胎児共存奇胎）

- 9) 免疫染色の有無 (p57kip2、TSSC3)
- 10) DNA 診断の有無
- 11) 初回治療後一週間目の血中 (尿中) hCG 値 (mIU/ML)
- 12) 初回治療後一週間目の子宮内膜厚 (mm)
- 13) 再掻爬の有無、初回治療からの日数
- 14) 再掻爬の施設 (自施設 or 他施設)
- 15) 再掻爬の手術手技 (掻爬、吸引、両者併用、その他、不明)
- 16) 再掻爬の病理診断 (奇胎絨毛・トロホプラストの有無)
- 17) 続発症の有無
- 18) 続発症ありの場合の診断
- 19) 続発症の部位
- 20) 手術合併症の有無、合併症ありの場合の詳細

5 本研究の実施期間

2018年6月～2019年6月30日

6 プライバシーの保護について

本研究で取り扱う患者さんの情報は個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものか一切わからない形で研究参加施設より調査小委員会に提供され、患者さんの情報と個人情報を連結させることはありません。

7 お問い合わせ先

済生会福岡総合病院 産婦人科 部長 丸山 智義

福岡市中央区天神 1-3-46 Tel. 092-771-8151 Fax. 092-716-0185

日本産科婦人科学会事務局 Tel. 03-5524-6900 Fax. 03-5524-6911